

「公共施設について考える」 地区別懇談会等の開催状況について

総務部公有財産活用局 公共施設マネジメント推進課

1 開催済（懇談会7地区、ワークショップ1地区）

期日	地区名	形式	回覧
6月13日(木)	小田切地区	懇談会	P2～3
6月14日(金)	芹田地区	懇談会	P4～5
6月19日(水)	若穂地区	懇談会	P6～7
6月25日(火)	三輪地区	懇談会	P8～9
7月23日(火)	第四地区	懇談会	P10～11
7月24日(水)	大豆島地区	懇談会	P12～13
7月26日(金)	更北地区	懇談会	P14～15
8月20日(火)	中条地区	ワークショップ①	P16

2 今後開催予定（懇談会7地区、ワークショップ2地区）

期日	地区名	形式
9月 9日(月)	川中島地区	懇談会
9月18日(水)	第一地区	懇談会
9月19日(木)	中条地区	ワークショップ②
9月20日(金)	第二地区	懇談会
10月 9日(水)	安茂里地区	懇談会
10月24日(木)	中条地区	ワークショップ③
11月13日(水)	古牧地区	懇談会
11月16日(土)	吉田地区	懇談会
R2年1月15日(水)	古里地区	懇談会
12～2月で調整中	長沼地区	ワークショップ

「人口減少社会における公共施設について考える」 小田切地区 市民との懇談会を開催しました。

回 覧

6月13日（木）小田切交流センターで、地区の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました
関係者の皆さま、ありがとうございました。

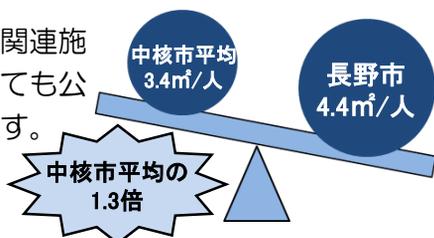
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

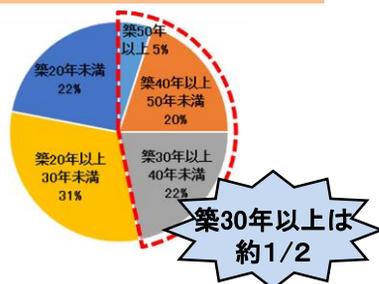
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると平均で約1.8倍の予算が必要です。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や、税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難な状況です。

そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設の複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！



当日の参加者からの主なご意見をご紹介します 3

◆旧小学校に入浴施設があるが、生かされていない。ここに老人福祉施設を整備したらどうか。また、交流センターには調理施設がないので、旧小学校に調理施設を設置してはどうか。そうすれば改善センターの整理も考えられる。

◆調理施設のためだけに改善センターを使っている団体も多い。学校のプールや体育館ももったいない。教職員住宅も数年前に潰してもらっているが、そういったところの見直しから入っていくべき。使っている施設ではなく、使用されずに残っている施設について考えるべきでは。

◆公民館が坂の上にあり、高齢者には不便である。そのため、会合には新橋老人憩の家の談話室を利用することが多い。

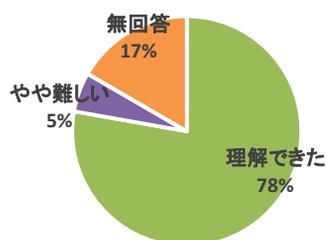
◆公共施設だけでなく、インフラについても考えていかなければいけない。

◆長野市は公共施設が少ない。公共施設と商業施設を統合することもできるのではないか。

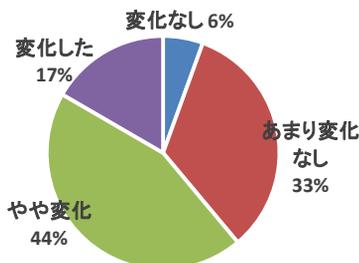
⇒皆様が利用している施設、関わっている施設について色々な考えをお聴きしました。意見全てを反映させるのは難しいことですが、個別施設計画の参考にさせていただきたいと思っています

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者19名 回答者18名)

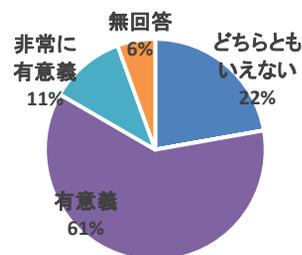
説明内容は
いかがでしたか？



考え方は
変わりましたか？



懇談会全体の内容は
いかがでしたか？



自由記載欄等より

◆思い切った施策が必要。ハコ物を作りすぎたつけを子供たちにバトンタッチしていくのは大変である。

◆市立公民館分館の数が多過ぎだと思う。年間稼働率の低い分館を整理することでかなりの面積を縮減出来ると思う。中山間地域の施設はもともと少ないので、まずは分館の整理から取り組んでもらいたい。

◆市内には公園が多すぎる。公園を作らず駐車場にした方がよっぽど良い。10分も車で移動すれば、当地区のような緑がいっぱいの場所がある。

◆かがやき広場の施設の再利用を真剣に考えるべき。入浴設備があるので、七二会・小田切等の現在安茂里・小市等のデイサービスに通所している高齢者が集まって利用できる場所になれば良いのではないかと思う。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

小田切支所 電話:229-3330

「人口減少社会における公共施設について考える」 芹田地区 市民との懇談会を開催しました。

6月14日（金）芹田支所において、住自協役員の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、
ありがとうございました。

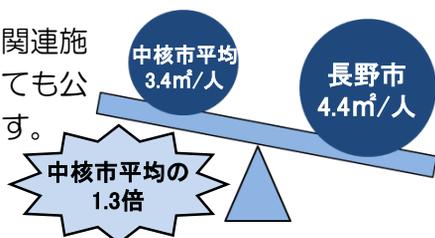
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、
こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。
当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

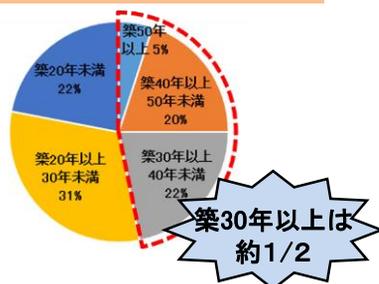
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年
が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると平均で約1.8倍の予算が必要です。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や、税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難な状況です。

そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設の複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！



◆南部小学校の児童館はたいへん多くの児童が使っている。常態的に児童センターは手狭。すぐ南側の教育センターがあるのでそこを何とかうまく使えないか。有効活用という話が出たが、同じ敷地内なのでぜひ活用したい。教育センターは何に使っているのか。

⇒教育センターは基本的には先生方の研修施設で、中核市には設けないといけない施設。児童センターの要望は担当課に伝える。

◆成長戦略として、人が集まりやすく若者が集う地区には、大いに施設を増やして住民を増やしていく。そして税収を上げていくべき。

⇒市としての総合的な政策を踏まえて、マネジメントを進めていく。

◆他都市だと、民間の資本を取り入れているところもあるが、長野市は進んでいない。民間の力も活用してほしい。

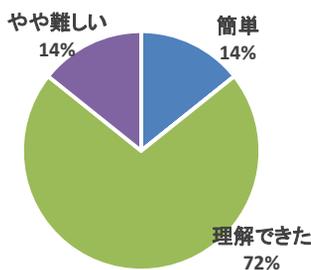
⇒公民連携は、公共施設マネジメントの柱であるが、長野市も長野県も、他都市と比べると事例が少ないことは確か。その辺も打破していきたい。

◆長野市には、公共施設の中にレストランや店などが入ったものがない。あまり一般の人が出入りしない施設でなく、人が多く利用できる収益性のある施設を考えてほしい。公共施設だけでは、維持管理だけにお金がかかるので、もう少し柔軟に考えて利益が出る施設にしないといけないのでは。

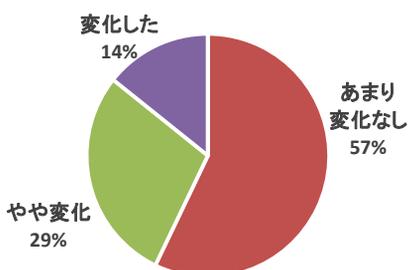
⇒既存施設で、空スペースを活用することは可能であるが、新しい施設を始めから民間に貸す目的で造ることについては、面積を減らすという課題もある。ただし、好立地などの場合に公民連携を考えることは必要と考えている。

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者7名 回答者7名)

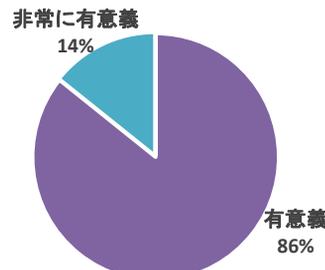
説明内容は
いかがでしたか？



考え方は
変わりましたか？



懇談会全体の内容は
いかがでしたか？



自由記載欄等より

◆削減は仕方がない。

◆昭和30年代建設の市営団地は新規入居者がほとんどなく、更地になってから久しい。更地を寝かしておくのは民間では考えられない。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

芹田支所

電話:226-5369

「人口減少社会における公共施設について考える」 若穂地区 市民との懇談会を開催しました。

6月19日（水）若穂支所で、地区の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました
関係者の皆さま、ありがとうございました。

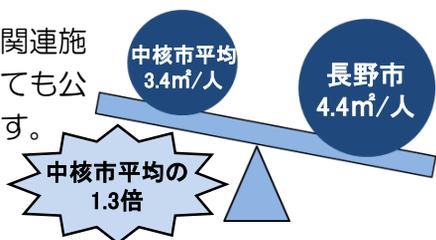
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、
こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。
当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると平均で約1.8倍の予算が必要です。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や、税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難な状況です。

そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設の複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！



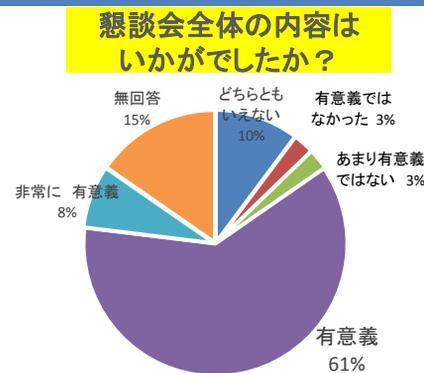
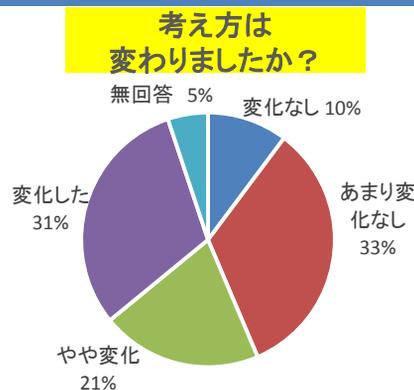
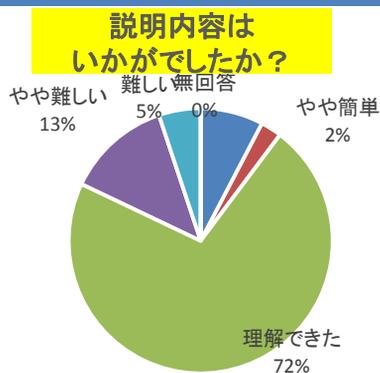
当日の参加者からの主なご意見をご紹介します 7

- ◆公共施設がたくさんあり、維持するのに大変なお金がかかることを改めて認識した。今後、長野市内の施設を20年間で20%を縮減するというのも理解できるが、どんな施設をどのように再編するかは、施設利用者の声などを聞いてみないとわからない。
- ◆若穂は、支所、公民館、保健センターと施設が一箇所にとまっております、こういうことは、有効に活用すればもっと効果的に使える施設になると思う。
- ◆多目的に利用すべきとの説明であったが、管理状況や低利用な施設など不明な施設もある。市としてもっとオープンにした方が活用しやすくなるのではないかと。
- ◆学校の空き教室が学校が管理しており思うように使えない。学校も市の施設であり、市が指導性を持って活用できるようにすべき。

【公共施設マネジメント推進課のコメントより】

⇒ 令和2年度中に個別施設計画を策定していく中で地区の皆さんからのご意見も伺って合意形成を図っていきたいと考えている。

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者47名 回答者39名)



自由記載欄等より

- ◆建設する時は必要があるから作ったはずだが、時間の経過とともに必要性も変化しているはずであり、見直すことは大事だと思う。
- ◆既存施設の多目的活用をもっとすすめるべきである。
- ◆総論賛成でも各論になると色々な意見が出てくるかもしれないが、もう総論的な議論をしている段階ではないと思う。
- ◆人口が少なくなることは明らかである。施設の維持は無理と考える。早めに理解をいただき対処すべきである。
- ◆民間企業とのタイアップを検討すべきである。
- ◆総論はわかったが、一方で市が建設を進めているもの（市が必要としているもの）にも厳しいハードルを設定すべきである。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】
公共施設マネジメント推進課
電話:224-7592
若穂支所 電話:282-2400

「人口減少社会における公共施設について考える」 三輪地区 市民との懇談会を開催しました。

6月25日（火）三輪支所で、地区の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました
関係者の皆さま、ありがとうございました。

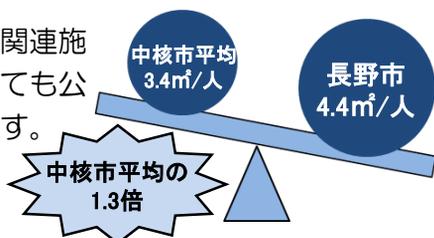
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、
こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。
当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

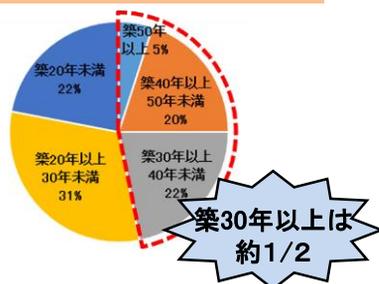
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると年平均で約1.8倍の予算が必要となります。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収の減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは、
困難な状況です。



そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設を複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！

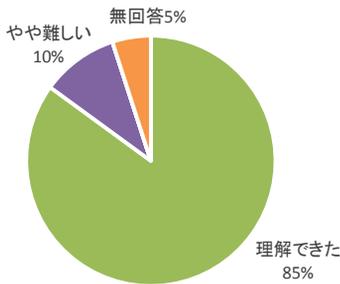


当日の参加者からの主なご意見をご紹介します 9

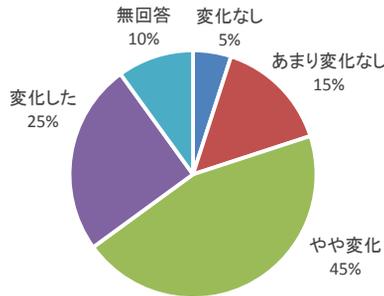
- ◆三輪体育館のトイレの洋式化を要望する。公共施設の量は必要ないが、質は大切にしてもらいたい。また、三輪体育館にAEDを設置してほしい。
- ◆2017年に三輪体育館の配電盤から煙が出た。消防車が来たが施錠されており入れなかった。1時間以上経過してから市の職員が鍵を持ってきたが、危機管理が余りにも脆弱ではないか。
- ◆人口は減っているが車は増えて、公共施設は駐車場が不足している。
- ◆公民館は使用料が無料でありがたいが、受益者負担は当然なことであり、使用料を貰ったうえでサービスの向上を図るべき。

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者26名 回答者20名)

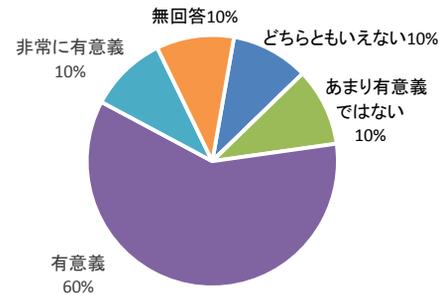
説明内容は
いかがでしたか？



考え方は
変わりましたか？



懇談会全体の内容は
いかがでしたか？



自由記載欄等より

◆新しい施設をつくる時、規模やコスト、将来の利用度を考えて、もう少し慎重に検討すべき。長野市の施設には、無駄や過大投資が多いと感じる。

◆長野市が抱える課題として、広域な面積というものがあげられるかと思う。コンパクトシティ等の構想も難しく、安易に統廃合することは地域住民から行政が離れてしまい、合併のデメリットばかり浮き彫りとなってしまうことが危惧される。そのような中、継続可能な行政を支える公共施設マネジメントの取組を行うことは、前例も乏しく、他の公共体の様子を見ながらの模索となり、大変な仕事かと思慮されるが、このようにワークショップを開催し、地域住民に現状を説明し知識を付与し、共に進んでいこうと活動をしている姿には勇気をもらえる。答えは見えているようで見えない、この行政活動をどうかよろしくお願いします。

◆三輪小も今年は夏休みのプールをしないと聞いているが、山王小のように民間のスイミングの利用は良いと思う。市の持ち物をスイミングの場所として貸し出すなど、様々なアイデアを出して考えていくのは良いと思う。

◆生産人口が減り、公共施設の維持管理は大変な問題だとあらためて認識した。学校の空教室の利用など、統合できるものはどんどん進めた方が良いと思う。受益者負担も、もう少し広げるのも良いと思う。ただし、市営住宅は減らさず、きれいに安全に整備して欲しい。“住”の問題は大事であり、民間はコストが高くなってしまふので。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

三輪支所

電話：232-2220

「人口減少社会における公共施設について考える」 第四地区 市民との懇談会を開催しました。

7月23日（火）もんぜんぷら座で、地区役員等8名の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

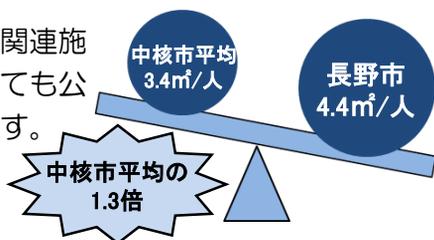
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

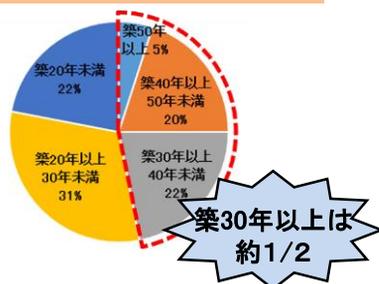
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると年平均で約1.8倍の予算が必要となります。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収の減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは、困難な状況です。



そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設を複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！



◆公共施設のない地区で公共施設マネジメントの話をして減らしようがない。第四地区にはもんぜんぷら座しかない。もんぜんぷら座の今後の方向性については、市が決める前に住民の意見を聞くことを約束してほしい。

⇒ 事前に住民の意見を聞くことを約束する。

◆もんぜんぷら座は、賃料収入で稼いでいると思うが、そういった内容が資料にない。

⇒ 懇談会では、市内32地区で基本的に同じ内容の説明をしている。

◆後町保育園は学校と複合化してもいいと思う。保育園は地区住民が使っていないので、どうしても地区に置いてほしいとは思わない。中部勤労青少年ホームも地区としては不要。

◆後町ホールは第四地区にあるのだから、第四地区の住民が使いやすい施設にしてほしい。ホールと屋台倉庫を複合化してもソフト面で使いにくいようでは困る。

また、後町ホールの駐車場に勝手に車を停めている人がいる。対策をお願いしたい。

◆周辺地区には、たくさんのお金を使っているが、中心市街地に公共施設を集約しないと、このまま人口が減少したときに困ると思う。中心市街地はマンションが建設され人口は増えていく。中心市街地の公共施設は、減らすのではなく増やすべき。人口推計を基に考えないといけない。

◆中心市街地と中山間地で行う説明資料が同じということに無理がある。聞いている方も辛いと思う。今日の説明を1/3程度に縮めて、残りの2/3は中心市街地用や中山間地用に分けて説明すると有効かもしれない。

⇒ 今後開催する懇談会において、参考としたい。

第四地区にある主な公共施設

施設名称	経過年数	延床面積
もんぜんぷら座	43	23,941 m ²
後町保育園	28	390 m ²
中部勤労青少年ホーム	34	1,077 m ²
後町ホール	1	701 m ²

経過年数は平成31年4月時点です



まんがでわかる！公共施設マネジメントに登場する長野家のネコ「ミーコ」
「ミーコ」の生みの親は、『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

地域活動支援課

電話：224-8570

「人口減少社会における公共施設について考える」 大豆島地区 市民との懇談会を開催しました。

回 覧

7月24日(水)大豆島総合市民センターで、地区代表の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。

開催にあたりご協力いただきました
関係者の皆さま、ありがとうございました。

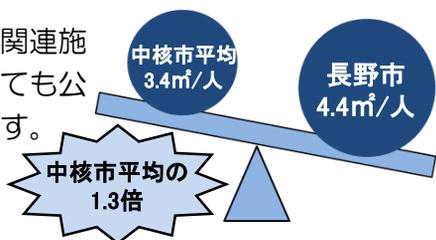
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、
こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。
当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間で比べると平均で約1.8倍の予算が必要です。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や、税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難な状況です。

そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設の複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

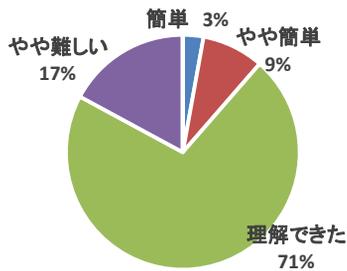
- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！

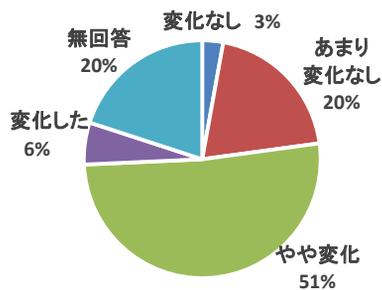


懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者42名 回答者35名)

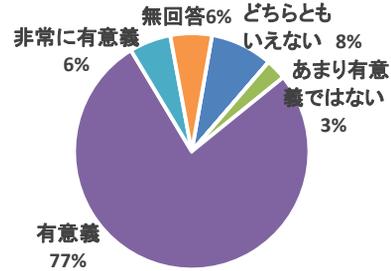
説明内容は いかがでしたか？



考え方は 変わりましたか？



懇談会全体の内容は いかがでしたか？



自由記載欄等より

- ◆人口減少の中、次代の子供達に負担をかけたくはない。
- ◆市町村合併や少子高齢化に伴い、マネジメントの必要性は以前から感じています。むしろ遅すぎる。
- ◆少子高齢化の問題点がより明確に認識することが出来た。皆でよく考えなければならない事を自覚したい。
- ◆人口減少が進む中で、いかに活力ある学校づくりをしていくか研修したことがあるが、学校の空き教室等利用して複合型・多機能な使い方することで子供達の豊かな学びにもつながると思う。
- ◆他都市にあるような、商業施設と公共施設との融合は良いと思う。
- ◆施設マネジメントは非常に重要だと思う。大豆島小学校も学校の増改築が進められてるが、ぜひ隣保館施設を取り入れた学校づくりを進めていただきたい。また、プールについては学校のカリキュラムの工夫で、学校内にプールを作らなくても対応は可能ではと思う。
- ◆従来このような説明会の機会はなく、公共施設の維持コストに問題があることは承知していたが、具体的な金額が提示されたことは意味があった。今後とも市民に対するPRはすべきと思う。
- ◆施設を減らしていくことは、大変良いことだと思う。しかし、利用者で遠くなる人もいる。これからはしっかり駐車場を確保していかなければ誰も利用しなくなる。大豆島総合市民センターのように駐車場があれば、やっぱり利用したいと思う。
- ◆大豆島体育館は開設してから3年になるが、新築時の見学で1回入っただけである。地区・地域の各種球技大会に使用できず、何のために新しくなったか疑問。飲食が出来ないため使用出来ないと思われるが、大豆島の体育館として利用できる方向で改定して欲しい。
- ◆かけ足での説明。もう少し時間をかけて説明してほしい。
- ◆各施設の運営者（管理者）の意識が、共同利用の視点に立たねば難しい。

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

大豆島支所 電話：221-4190

「人口減少社会における公共施設について考える」 更北地区 市民との懇談会を開催しました。

7月26日（金）更北公民館多目的ホールで、地区の皆さまにお集まりいただき「人口減少社会における公共施設について考える」懇談会を開催し、ご意見をお聴きしました（裏面をご覧ください）。開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さま、ありがとうございました。

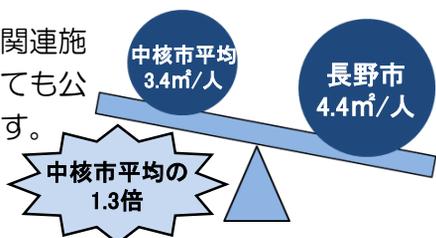
説明会当日の資料は、市ホームページに掲載していますので、こちらをご覧ください。



懇談会では「なぜ公共施設マネジメントに取り組むのか」などについて、市から説明しました。当日説明した内容のポイントをご紹介します。

市民一人当たりの床面積は 中核市平均の1.3倍

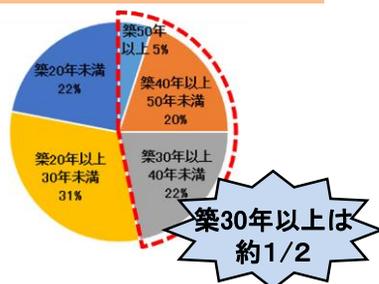
長野市は、オリンピック関連施設などもあり、全国的に見ても公共施設を多く保有しています。



築30年以上経過の老朽化施設が約2分の1

昭和40～50年代の急激な人口増に対応するため造られた施設は老朽化が進んでいます。

オリンピック関連施設も築20年が経過しました。



建物の改修・更新費用は
40年間で約4,000億円

老朽化施設を改修・更新するための費用は、過去5年間と比べると年平均で約1.8倍の予算が必要となります。

人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収の減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは、困難な状況です。



そこで！

「公共施設マネジメント」の推進

「公共施設等総合管理計画」 平成29年3月策定

基本理念：「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」

- ◆施設を複合化、多機能化しながら、**施設全体の床面積を20年間で20%縮減**を目指します。
- ◆計画的な点検・改修による**施設の長寿命化**を図ります。

「個別施設計画」 令和2年度までに策定します！

- ◆施設分野ごとに**今後10年間の具体的な対策**を定めます。
- ◆個々の施設の維持保全や更新、統廃合などの具体的な対応方針を示します。

計画策定にあたり、各地区で懇談会やワークショップを開催しています！

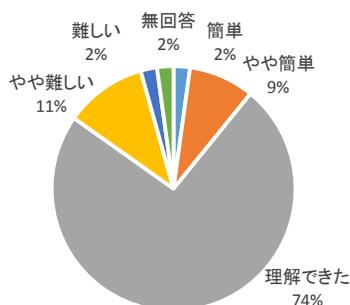


当日の参加者からの主なご意見をご紹介します 15

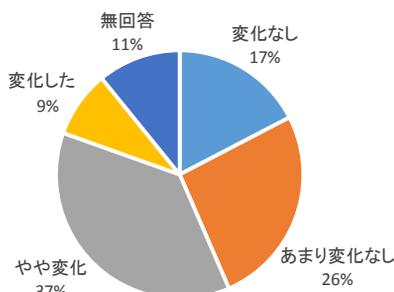
- ◆ 公用車は土日には必ず止まったままになっており、オンデマンドタクシーとして利用できるような仕組みを考えてもらえるのも、公共施設マネジメント推進課の仕事に含まれるか。
⇒ 地域の中で要望があれば、別途支所を通じてご相談いただきたい。
- ◆ 道路側溝は安全性のため蓋をしているので、地域住民が手を出しにくく、大雨が降ったときくらいしか水が流れない。豪雨等の際に、本当に役に立ったのか不安があるので、そういう時に機能するよう公共施設マネジメント推進課で考えていただけるのか。
⇒ 行政だけで、全ての側溝は清掃できないため、地域の皆様の力をお借りしているのが実態。様々な用水・側溝があるので具体の相談は、別途支所をお願いしたい。
- ◆ これから新しく整備するのは「複合施設」というのは理解できる。だんだん高齢化してきているので、できれば元気があるうちにそういう複合施設を見たいという思いがある。

懇談会終了後 参加者アンケート結果 (出席者99名 回答者46名)

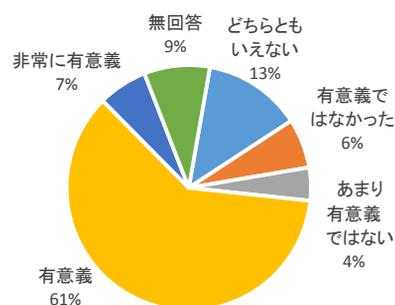
説明内容は
いかがでしたか？



考え方は
変わりましたか？



懇談会全体の内容
いかがでしたか？



自由記載欄等より

- ◆ 人口減少は避けられない。現状の諸施設の維持は財源的にも無理。思い切った統合または廃止が不可欠と思う。大きな問題で、これからの対応が難しい時代となってしまった。
- ◆ 学校を高齢者向けのコミュニティとして利用できないか。小学校と保育園を1つにする。
- ◆ 施設利用料をとらないことが多いが、わずかでもいただいて財源とすることが必要。
- ◆ 官民一体となったプロジェクトを組織的・計画的に進めてほしい。また、その内容・情報を市民へ定期的に開示して欲しい（市の資産運用を計画的に検討を）。
- ◆ 博物館への小学校の社会科見学を全県から来館するようにPRすべきと考える。
- ◆ 施設にかかる費用と利用度（効果）を示し、関係する地区に理解を求めてはいかがか。
- ◆ 段階的将来ビジョンをつくって指針となる考え方を共有することが大切と考える。
- ◆ 市・県との管理（新設も含め）の中で行政の横の連絡調整が重要になってくるのではないか。
- ◆ 空き家が多くなっているが、家屋と土地を借用して活用できないか。 など

再編・再配置にあたっては、今回の懇談会などでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまのご意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。



公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などは、右記お問い合わせ先までお寄せください。
出前講座もやっています！

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

更北支所

電話：285-2001

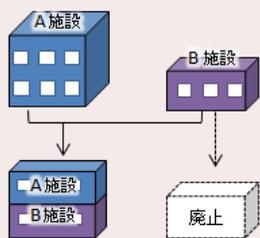


中条地区の公共施設についての 市民ワークショップ開催のお知らせ

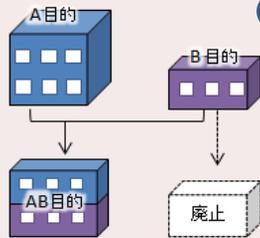
人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、中条地区の市有施設の将来像について、みんなで考える市民ワークショップを開催します。

複合化



多機能化



施設の集約化で
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化による
「多世代交流」

主催：長野市

(担当：公共施設マネジメント推進課、中条支所)

協力：中条地区住民自治協議会

参加者：約30名(公募メンバーほか)

	開催日時	内容(予定)
第1回	8月20日(火) 18:30~20:30	オリエンテーション グループ討議①中条地区の公共施設の現状と課題
第2回	9月19日(木) 18:30~20:30	グループ討議②まちづくりにつながる公共施設の使い方
第3回	10月24日(木) 18:30~20:30	グループ討議③中条地区の将来像と公共施設の在り方 グループ意見発表、まとめ

会場はいずれも中条会館2階 大会議室です

※進行状況により、内容を変更する場合があります

◎興味のある方、参加希望の方は、中条支所市民担当または、中条地区住民自治協議会までお問い合わせください。

ワークショップは公開
で、見学自由です。
飛び入り参加も
大歓迎!



他の地区で開催した市民ワークショップの結果など、長野市の公共施設マネジメントの取組を長野市公式ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



長野市公式ホームページ
公共施設マネジメント推
進課のQRコード

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

中条支所 電話：268-3001

住自協 電話：267-1020